企業等の皆さまへ

2024 年度

大阪工業大学インターンシッププログラムのご案内

Internship Program

インターンシッププログラムに関するお問い合わせ

〒535-8585　大阪市旭区大宮 5-16-1　大阪工業大学 キャリア支援部

（インターンシップ担当 野間・細田）

TEL／06-6954-4093　　FAX／06-6952-4472　　E-mail／OIT.Shushoku@josho.ac.jp

みらいを つくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

インターンシッププログラム 概要

対　　象	学部３年次、大学院博士前期課程・専門職学位課程１年次
位置付け	正 課 授 業 ：工学部、ロボティクス＆デザイン工学部、知的財産学部 大学院工学研究科、大学院ロボティクス＆デザイン工学研究科、 大学院情報科学研究科 〔参考〕課外教育：情報科学部、大学院知的財産研究科
実施時期	原則として、夏期休業期間中の**５日間以上** **※2024 年度の学生夏期休業期間［8/19（月）～9/18（水）］の中で実習期間の設定をお願いいたします。** **※学生の成績発表日の９/4（水）は実習を避けていただくようお願いいたします。**
研修内容	業務全般の就業体験　現場実習・業界研究・プレゼンテーション・ビジネスマナー 等 **＊対面・WEB の実施方法については問いません。「大阪工業大学インターンシッププログラム　学生受入計画」の登録をお願いします（下記の URL からご登録ください）。**

大阪工業大学インターンシッププログラム学生受入計画 https://forms.office.com/r/sstBsbJsT4（4/5 締切）

実施の際によくいただく質問項目

Q1.　参加学生はどのように選抜されるのですか？

A1.　学生は大学内で募集、選考いたします。選考は各学科で参加目的などを中心に**個人面談を行い、学科として望ましい学生を選抜**しています。

Q2.　インターンシップ学生受入れにあたり、受入れ側の企業等はどのような対応が必要ですか？

A2.　**２０２３年度から三省（文部科学省、厚生労働省、経済産業省）の合意のもと、産学協議会がインターンシップを再定義しました。本学の正課インターンシップは、この再定義により、別表４類型のタイプ３「汎用的能力・専門活用型インターンシップ」に該当します。**

①タイプ３の要件を満たしているかご確認ください。

②満たしていましたら、Forms の**「学生受入計画」を登録してください。**

③学生から参加希望があり、受入れをご承知いただいた段階で、受入れ条件確定のために**「協定書」**を交わします。

④研修中、**「研修日誌」**に毎日学生が業務内容や学んだこと等を記録しますので、ご確認をお願いします。

⑤最終日には、**「＊受入先ご担当者記入欄」**にアドバイスなどをご記入いただきます。

⑥その後は、学生の研修時のご意見などをご記入いただいた**「大阪工業大学『インターンシップ評価票』」**を大学へご返送していただきます。

ただし、本件についても社会状況を見つつ、内容が変わる可能性があります。

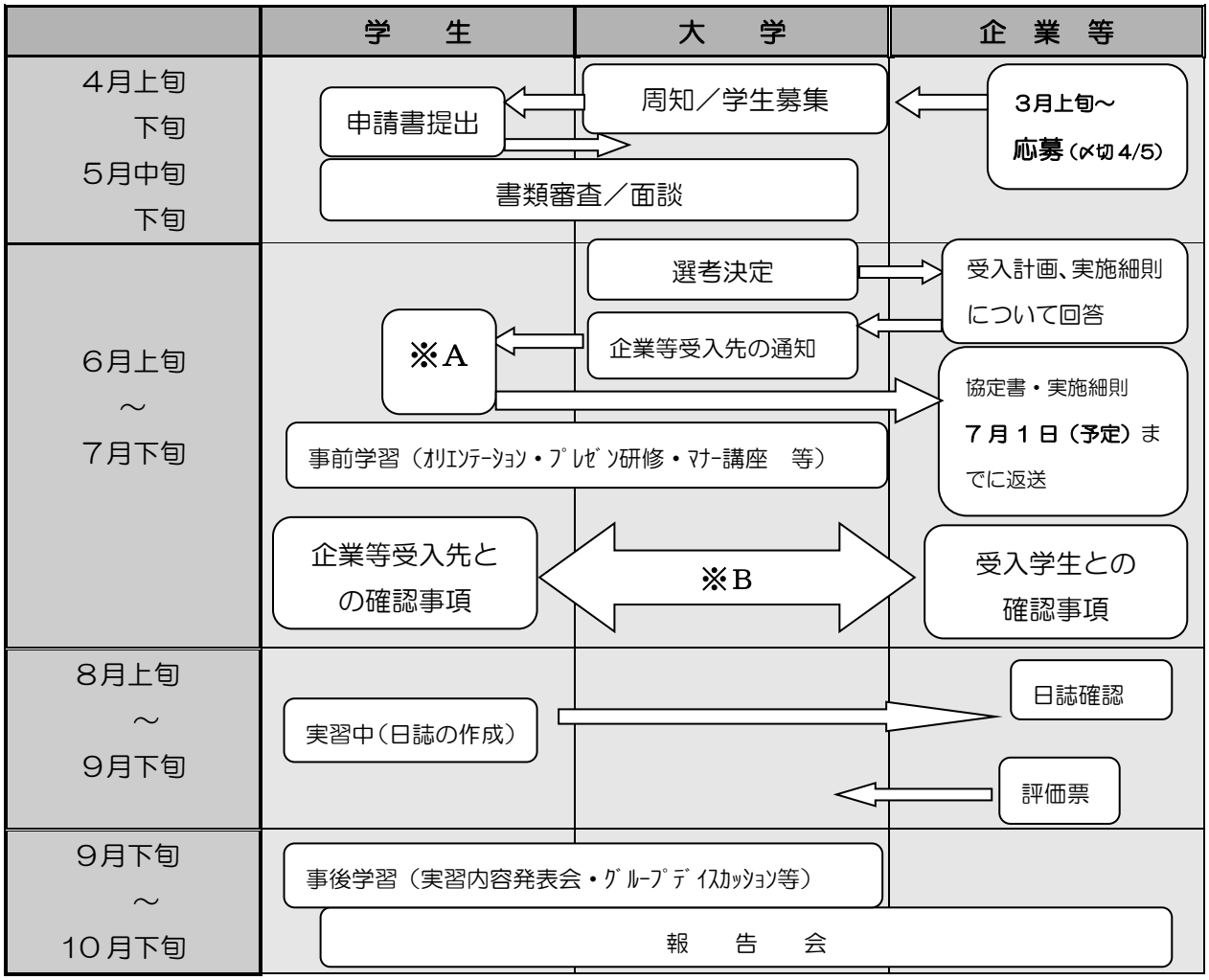
（別表）　　（出典元：採用と大学教育の未来に関する産学協議会）

学生のキャリア形成支援活動（4類型）－特徴の比較－

		類型			
		タイプ1: オープンカンパニー	タイプ2: キャリア教育	タイプ3: 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4（試行）: 高度専門型インターンシップ
主な特徴	①目的	個社や業界に関する情報提供・PR	働くことへの理解を深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、企業にとっては学生の評価材料の取得
	②代表的ケース （主に想定されるもの）	企業・就職情報会社や大学キャリアセンターが主催するイベント・説明会	・大学等が主導する授業・産学協働プログラム（正課・正課外を問わない） ・企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学等が企業あるいは地域コンソーシアムと連携して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視したプログラム	・ジョブ型研究インターンシップ（自然科学分野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が共同で試行中） ・高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ（仮称）（産学協議会で検討中）
	③就業体験	なし	任意	必須 ★(a)就業体験要件 学生の参加期間の半分を超える日数を職場での就業体験に充てる （テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」） ★(b)指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
	④参加期間（所要日数）	超短期（単日）	授業・プログラムによって異なる	★(c)実施期間要件 （i）汎用的能力活用型は短期（5日間以上） （ⅱ）専門活用型は長期（2週間以上） 【本学の正課インターンシップは汎用的能力活用型につき、就業体験は3日間以上】	・ジョブ型研究インターンシップ：長期（2カ月以上） ・高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ（仮称）：検討中
	⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業両立	学士・修士・博士課程の全期間（年次不問）。但し、企業主催の場合は、時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮	★(d)実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・2年の長期休暇期間（夏休み、冬休み、入試休み・春休み）但し、大学正課および博士課程は、上記に限定されない 【本学の正課インターンシップは学部3年／修士1年が対象】	－
	⑥取得した学生情報の採用活動への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

(e)情報開示要件：
①プログラムの趣旨（目的）
②実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給／有給等
③就業体験の内容（受入れ職場に関する情報を含む）
④就業体験を行う際に必要な（求められる）能力
⑤インターンシップにおけるフィードバック
⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨（活用内容の記載は任意）
⑦当該年度のインターンシップ実施計画（時期・回数・規模等）
⑧インターンシップ実施に係る実績概要（過去2～3年度）
⑨採用選考活動等の実績概要※企業による公表のみ

本学インターンシッププログラムの流れ（予定）



※A：学生が実施細則を入手後、速やかに学生から企業等受入先様にご挨拶の電話をするよう指導しています。（7月下旬）

※B：A以降、ビジネス教育/コミュニケーションの力を学生につけるためにも、<u>企業等受入先様と学生間で、事前にオンライン等で調整させていただきます。</u>

２０２３年度の実施状況

（企業等団体名＜受付順＞）

（株）ピーエス三菱、明星金属工業（株）、東亜建設工業（株）、（株）箭木木工所、（株）エムアンドエー、西尾レントオール（株）、寺崎電気産業（株）、（株）ソフトム、（株）中野積算　大阪支店、本四高速道路ブリッジエンジ（株）、鳳工業（株）、（株）三建構造、（株）小西建築設計事務所、（株）服部建築事務所、大日本除虫菊（株）、尼崎電機（株）、（株）ケイ・アイ・エス、日本建設（株）、（株）北條建築構造研究所、帝国チャック（株）、（株）東光コンサルタンツ　大阪支店、マツダ（株）、（株）吹上技研コンサルタント、影近設備工業（株）、（株）中田製作所、（株）アルトナー、日本交通技術（株）、（株）スズキ自販近畿、（株）汎設計、摂津市役所、安治川鉄工（株）、（株）笠谷工務店、高田機工（株）、日工電子工業（株）、（株）トンボ、豊和開発（株）、オリジナル設計（株）、（株）教映社、東近江市役所、（株）日水コン、株木建設（株）、（株）クラックスシステム、（株）ナイキ、（株）関西マツダ、前田道路（株）、久米電気（株）、（株）サンテック、セントラルコンサルタント（株）、（株）淺川組、中央電設（株）、鹿島建設（株）、マツモト機械（株）、（株）マイ技建、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング（株）、TOA（株）、三菱電機コントロールパネル（株）、（株）YSK、（株）駒井ハルテック、金井ホールディングス（株）、（株）ナカノフドー建設、ソフトキューブ（株）、（株）マイスターエンジニアリング、野村建設工業（株）、（株）アトリエスイッチ一級建築士事務所、エース設計産業（株）、（株）東京設計事務所、いであ（株）大阪支社、（株）綜合技術コンサルタント、日本水工設計（株）、西松建設（株）、日東コンピューターサービス（株）、英和（株）、（株）伊藤喜三郎建築研究所、三井住友建設（株）、マテックス（株）、トーテックアメニティ（株）、（株）中央電機計器製作所、極東興和（株）、大阪技術管理（株）、日本シビックコンサルタント（株）、（株）近計システム、髙松建設（株）、グリコマニュファクチャリングジャパン（株）、（株）福田組、（株）伊藤金属製作所、（株）フルノソフテック、三井住友建設鉄構エンジニアリング（株）、（株）MST コーポレーション、（株）鴻池組、都島工業高等学校、西野田工科高等学校